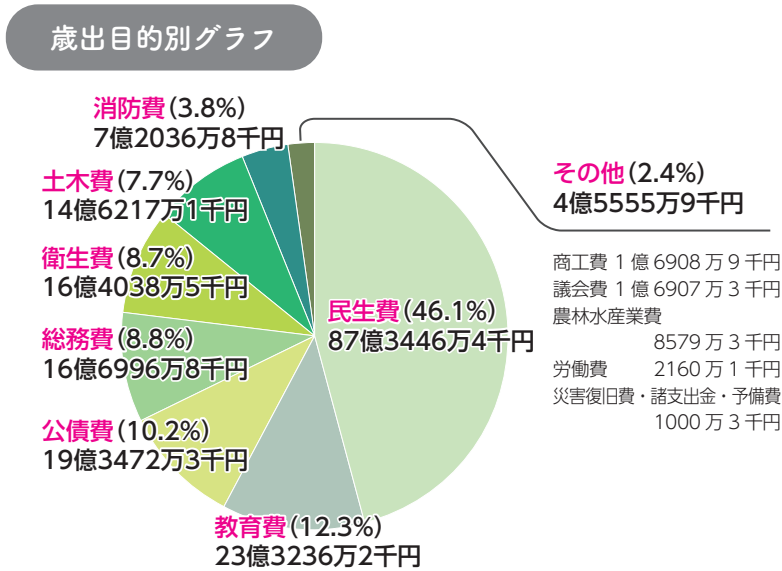
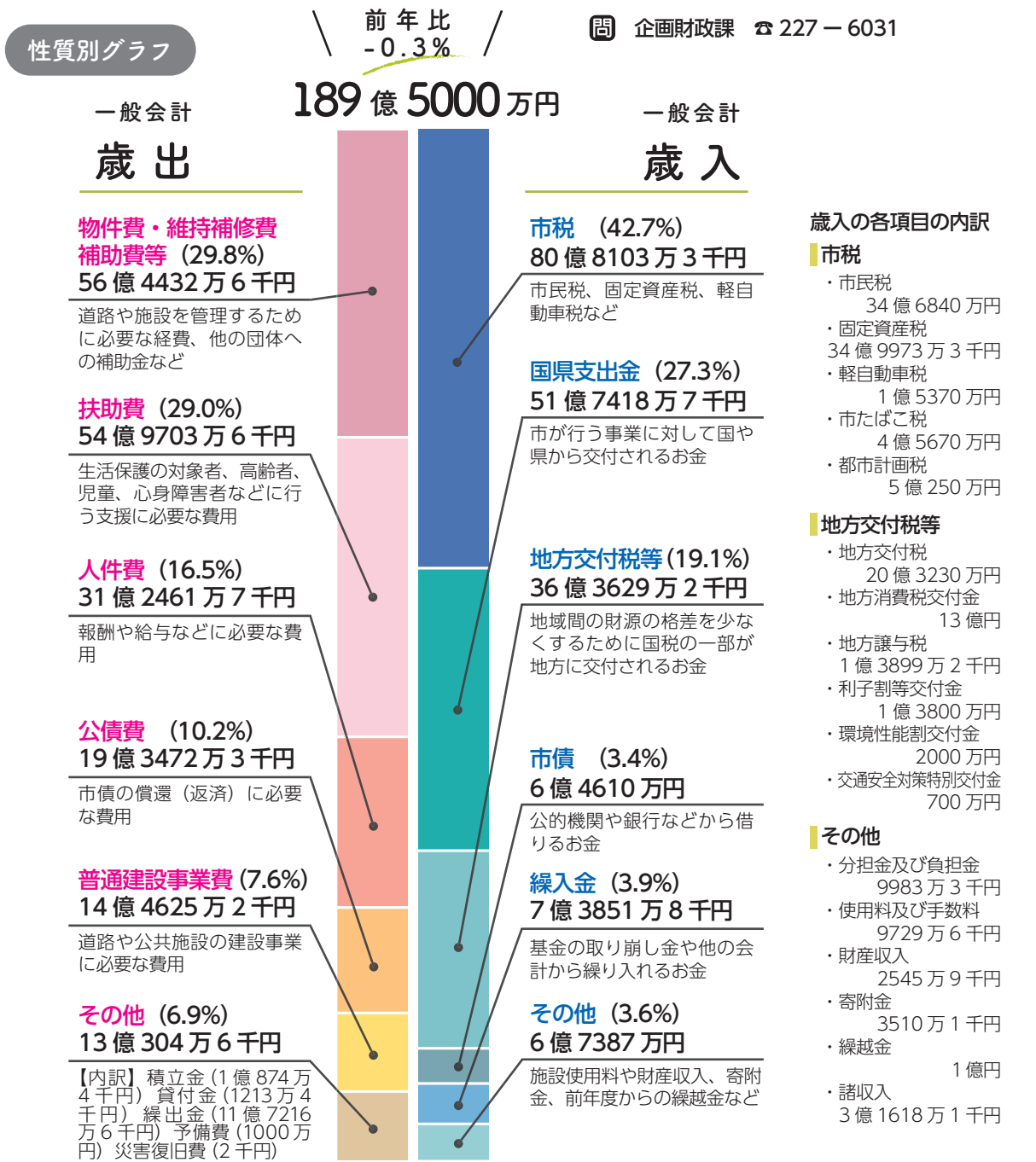




特別会計などの予算	
特別会計	歳入・歳出
国民健康保険	41億7600万円
後期高齢者医療	6億600万円
介護保険	28億7900万円
墓地	4400万円
水道事業会計	
収益的収入	9億2600万円
収益的支出	8億3200万円
資本的収入	2億5800万円
資本的支出	6億2000万円
公共下水道事業会計	
収益的収入	11億8700万円
収益的支出	12億8300万円
資本的収入	7億3300万円
資本的支出	11億8900万円

市第二次総合計画がスタート！

野々市市の予算

予算編成の基本方針

市第二次総合計画の一年目となる今年度予算では、総合計画に定める将来都市像の実現に向け、従来の予算編成方法を見直し、計画の柱となる「市民協働のまちづくり」「SDGsの推進」「野々市ファンの拡大」をスタートするための予算編成を行いました。

また、令和3年度から引き続き「財政健全化集中取組期間」（令和5年度まで）として、経常収支比率（※1）の改善と財政調整基金（※2）に頼らない財政運営を目指します。経費の削減と合わせてふるさと納税制度の充実など、新たな財源の確保にも積極的に取り組んでいきます。

※1 経常収支比率…市税など使途が限定されていない収入のうち、人件費・扶助費のように毎年支払う経費

（※固定費）に使う割合
 ※2 財政調整基金…市の貯金。財源不足に備えて剰余金を積み立て、災害時などの予期しない支出に備えています

市の進むべき方向性を定める
 最上位の計画

市では、まちづくりの新たな指針となる市第二次総合計画を策定しました。この計画は、将来の発展に向けて、令和4年度から令和13年度までの10年間の本市の取り組むべきビジョンを描いたものです。計画の策定には、行政だけでなく、市に関わるさまざまな人が加わり、10年後の将来都市像や、その実現を目指すための取り組みについて検討しました。市民協働で策定した総合計画のダイジェスト版を本紙とともに配布していますので、ぜひ見てください。また、

計画書の本編は市ホームページのほか、企画財政課窓口で閲覧することが出来ます。



第二次総合計画
本編 URL

3つの基本姿勢

計画で定める将来都市像の実現に向けて具体的な施策を進めていくにあたり、全ての施策に共通する基本的な姿勢として、次の3点を大切にして取り組みます。

将来都市像 これからの都市のビジョン

かがやき無限大
みんなでつくる
インパクトシティ
ののいち

市民の力で、コンパクトなまちの中に魅力が詰まった『インパクトシティ』にすることで、自分が野々市市民であることにプライドを持つことができ、ますますまちづくりに参加したくなるような、かがやきあふれる野々市市を目指します。

▼市民協働のまちづくり
幅広い分野において市民と行政との間で協働のまちづくりが定着していくことを目指します。

▼SDGsの推進
SDGs達成に向けた取り組みを、市民や団体、事業者などの多様な主体と連携を図りながら推進します。

▼野々市ファンの拡大
市を応援してくれる「野々市ファン」を増やす取り組みを推進します。

基本目標5 あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち

☑ 授業支援システムの導入

確かな学習と学力の向上 予算額 1685万8千円

タブレット端末に授業支援ソフトを導入し、より効果的な学習と学力向上を目指します。

教育総務課 ☎227-6162

☑ コミュニティ・スクールの導入

まち全体で子どもたちを育む 予算額 628万5千円

市内全小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、家庭・地域・学校が連携して子どもの成長を支えます。

生涯学習課 ☎227-6117

基本目標6 みんなが働きたくなる、活気のあるまち

☑ ののいち創業マルシェ

挑戦できるまち 予算額 50万円

市観光物産協会と連携し、創業予定者がチャレンジできる機会を提供、市内への立地を促します。

地域振興課 ☎227-6160



基本目標7 くらし充実 快適がゆきとどくまち

☑ 除雪体制の強化

雪害に備える 予算額 475万円

新庄雪捨て場の改良による排雪トラックの動線確保とGPSを活用した除雪車両管理システムの導入により効率的な除雪体制を目指します。

土木課 ☎227-6086

☑ 田んぼダム実証実験

雨に備える 予算額 500万円

流域治水の観点から、水田の貯留機能を生かした流出抑制効果を検証する実証実験を行います。

土木課 ☎227-6023

基本目標8 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち

☑ 庁内DXの推進

デジタル技術の更なる活用 予算額 2700万円

定型的な業務を自動化するソフトウェア導入と市民窓口のデジタル化で、業務の効率化や市民の利便性向上を目指します。

企画財政課 ☎227-6028

☑ 広報活動の拡充

情報発信の多様化 予算額 154万5千円

LINEや動画を活用した情報発信を行い広報活動を充実します。

市民協働課 ☎227-6056

令和4年度の主な事業を紹介します

市第二次総合計画に掲げる「市民協働のまちづくり」「SDGsの推進」「野々市ファンの拡大」という3つの基本姿勢を実現する予算編成を行いました。計画に定める基本目標ごとに、主な取り組みを紹介します。



基本目標1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち

☑ SDGs 啓発推進

持続可能なまちのために 予算額 200万円

市内の大学や連携協定を締結した事業者と連携し、SDGsの啓発活動などを行います。

企画財政課 ☎227-6028

☑ 北国街道にぎわい創出プロジェクト

歴史資源を活用したまちづくり 予算額 1030万円

北国街道まちづくり基本計画に基づき、郷土資料館の民間運営に着手します。

地域振興課 ☎227-6121

生涯学習課 ☎227-6122

基本目標2 心のかよう福祉のまち

☑ 児童相談システムの導入

子どもを守る 予算額 150万円

要保護児童の対応業務を電子化、関係機関との連携強化と迅速化を図り、対象児童や家庭への対応の質を向上します。

子育て支援課 ☎227-6077

☑ ののいち健康長寿プロジェクト

健康で長生きを目指す 予算額 191万7千円

医療と介護データの分析を通じて重症化予防などを強化し、市民の健康寿命延伸を図ります。

保険年金課 ☎227-6071

介護長寿課 ☎227-6067

健康推進課 ☎248-3511

基本目標3 みんなで取り組む安全・安心なまち



☑ 認知症高齢者地域見守りネットワーク

高齢者の安全を守る 予算額 9万7千円

市域を越えた取り組みとして（石川中央都市圏）、認知症高齢者にICタグを身に付けてもらい行方不明の早期発見を図ります。

介護長寿課 ☎227-6067

基本目標4 環境を考え、みんなで行動するまち

☑ 地域猫活動団体補助金

小さな命を守る 予算額 10万円

飼い主のいないネコの不妊・去勢手術を行う団体の活動に対し、経費の一部を補助します。

市民生活課 ☎227-6052

☑ 環境循環システム活用事業

体験から学ぶ 予算額 17万9千円

富奥・押野・御経塚保育園に生ごみ処理機を設置し、園児が資源循環について学べるようにします。

子育て支援課 ☎227-6076